※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅰ　改訂版　Tutti＋　（　大修館書店　）						
副教材等	自主制作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱、器楽、鑑賞、創作などの音楽活動を通して音楽体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばすと共に、音楽が身近なものになり生涯にわたり心の支えとなるよう願っている。

2　学習の到達目標

・知識及び技能
　音楽の構造や文化的、歴史的背景を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な技能を身に付ける。
・思考力、判断力、表現力等
　音楽に関する知識や技能を総合的に働かせ、個性豊かに表現する。音楽を評価しながら、良さや美しさを味わい鑑賞の能力を高める。
・学びに向かう力、人間性等
　主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。音楽によって生活を明るく、豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表せるかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌声を響かせよう	・発声・呼吸について ・楽譜の読み方・書き方 ・曲想と歌詞の内容とのかかわり ・声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かした表現	a:音楽を形づくっている要素を知覚し、曲想と歌詞の内容がどのように関わっているかを理解している。 b:自分なりのイメージをもって声の音色や強弱、旋律の特徴などをいかした表現を創意工夫している。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	授業観察
	ギターの演奏を楽しもう	・ギターとその音色の正しい奏法とTAB譜の読み方について ・パートの役割を理解して合奏する	a:曲に相応しい奏法、身体の使い方を身に付けている。 b:曲に相応しい音楽表現をするための知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関りについて考え、自己のイメージを持って表現を創意している。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、主体的に器楽表現する学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	授業観察 ワークシート
	音楽を形づくっている要素に注目して、曲の良さや美しさを探ろう	・音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きについて ・L.V.ベートーベンについて学び楽曲を鑑賞する	a:曲想や楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 b:音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴こうとしている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、音楽の良さを味わう学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	日本や諸外国の歌曲に親しみ表現を工夫して歌おう	・正しい呼吸法と、発声法を身に付ける ・曲想と歌詞の内容がどの様になっているか感じる ・声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かして歌う	a：自己のイメージをもって声の特徴や発声、言葉の発音などを身に付けている。 b:音楽の構造や歌詞、文化的歴史的背景との関わりを理解し、曲に相応しい表現を創意工夫している。 c:様々な言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解し歌う学習に主体的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	授業観察
	和楽器に親しみ演奏を楽しもう	・和楽器・箏の体験 ・調弦、押し手などの奏法 ・さくら変奏曲を演奏 ・六段、日本の伝統音楽の鑑賞	a:箏の音色や奏法を知覚し曲に相応しい表現を身に付けている。 b： 曲に相応しい奏法の知識や技能を得たり意識したりしながらそれらの関わりについて考え自己のイメージをもって箏の表現を創意工夫している。 c:和楽器に親しみ、音色や奏法との関わりを理解する学習に取り組んでいる。	演奏の聴取	授業観察	授業観察 ワークシート
	総合芸術における音楽を鑑賞しよう	・舞台や映像などと音楽との結びつきにより生まれる効果について理解する。 ・オペラ、ミュージカルなど音楽表現の良さや美しさ、魅力を味わう ・ミュージカルや映画の鑑賞	a：作品の背景を知覚し、自己のイメージをもって音楽の特徴を理解している。 b:曲想や音楽の構造、歌詞との関わりを理解し、曲に相応しい表現を感じとっている。 c:物語や作品のあらすじ、登場人物の心情などを理解し歌う学習に取り組んでいる。	授業観察 ワークシート	授業観察	授業観察 ワークシート
	音階の特徴を生かして創作しよう	・音階の種類や特徴を感じ取る ・イメージに合った音階を使用し、旋律を創作する	a：それぞれの音階の特徴を理解し、イメージに合う旋律を創作している。 b:音階による違いを知覚し、自己のイメージを持って創意工夫をしている。 c:音楽の構成などを工夫し、音階の特徴を生かして旋律をつくる学習に取り組んでいる。	授業観察 ワークシート	授業観察	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	・楽曲に相応しい奏法や表現方法 ・各パートの音の重なり方や、それぞれの役割と全体の調和について	a:各楽器の特徴や表現方法を理解し、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:各パートの役割を理解すると共に、全体の響きをイメージしながら表現を創意工夫する。その関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 c:器楽アンサンブルによる表現の特徴を理解し、他者との調和を意識し全体的、協働的に表現学習活動に取り組もうとしている。	授業観察 演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	授業観察 ワークシート
	世界の諸民族の音楽に親しもう	・世界の諸民族の音楽について ・それぞれの国や地域の音楽や文化的、歴史的背景について ・楽曲の特徴を生かした歌唱 ・多様な表現による音楽美を感じ鑑賞する	a:　世界の諸民族の音楽の構造や音の出る仕組みなどの特徴と文化的、歴史的背景を理解している。 b:　発声法による音色の違い、声域や旋律の特徴などについて知覚し、それらの関わりについて考え自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:世界の諸民族の音楽やそれぞれの特徴に関心を持ち、歌ったり鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	演奏の聴取	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度